

臨床検査成績報告書

機関名 T 姫路市医師会 臨床検査部 T3000
 カルテNo 年齢
 患者名 イシカイ タロウ 様 性別 階
 コメント 11-4
 受付日 2014/02/23 受付No 0039
 報告日 2015/03/18

検査項目	検査成績	コメント	基準値
LD	H 255 IU/L		119~229
AST(GOT)	25 IU/L		8~35
ALT(GPT)	27 IU/L		5~43
γ-GT	48 IU/L		75以下
ALP	L 28 IU/L		100~340
総ビリルビン	H 3.1 mg/dl		0.3~1.2
総コレステロール	H 301 mg/dl		140~219
HDLコレステロール	H 85.0 mg/dl		40.0~70.0
LDLコレステロール	L 54.0 mg/dl		70.0~139.9
LDL/HDL比	0.6		

臨床検査成績報告書(本人用)

機関名 T 姫路市医師会 臨床検査部
 カルテNo 年齢
 患者名 イシカイ タロウ 様 性別 階
 コメント 11-4
 受付日 2014/02/23 受付No 0039
 報告日 2015/03/18

検査項目	検査成績	基準値
LD	H 255 IU/L	119~229
AST(GOT)	25 IU/L	8~35
ALT(GPT)	27 IU/L	5~43
γ-GT	48 IU/L	75以下
ALP	L 28 IU/L	100~340
総ビリルビン	H 3.1 mg/dl	0.3~1.2
総コレステロール	H 301 mg/dl	140~219
HDLコレステロール	H 85.0 mg/dl	40.0~70.0
LDLコレステロール	L 54.0 mg/dl	70.0~139.9
LDL/HDL比	0.6	

臨床的意義

蛋白	総蛋白	脱水や慢性炎症で高くなり、肝疾患、腎疾患などで低くなります。
	アルブミン、A/G比	肝、腎機能障害、栄養障害などで低くなります。
肝	TTT, ZTT	慢性肝炎、肝硬変、膠原病などの慢性炎症疾患で高くなります。
	LD	肝臓、心臓、腎臓、筋肉、血液などの疾患で高くなります。
	AST(GOT) ALT(GPT)	肝障害に鋭敏な指標であり、肝炎、脂肪肝、胆管炎などの肝・胆道系疾患で高くなります。ASTは心臓、筋肉の疾患でも高くなる場合があります。
	γ-GT	肝・胆道系疾患、特にアルコール性肝障害で高くなります。
	ALP	肝・胆道系疾患、骨疾患で高値になり、子供の成長期、妊娠などでも高くなります。
	総ビリルビン 直接ビリルビン	肝・胆道系疾患、溶血性貧血などで高くなります。
	LAP	肝・胆道系疾患などで高くなり、妊娠などでも高くなります。
	コリンエステラーゼ	肝障害や農薬中毒で低くなり、脂質異常症、脂肪肝、肥満、糖尿病などで高くなります。
心	CK	心筋梗塞や筋疾患で高くなり、過激な運動の後でも高くなります。
膵	アミラーゼ	膵臓疾患や唾液腺疾患などで高くなります。
	尿素窒素	腎機能障害により高くなります。
腎	クレアチニン	腎機能障害や筋肉性疾患により高くなります。
	尿酸	痛風、高尿酸血症、腎機能障害で高くなります。
電解質	Na, Cl, K	体の水分代謝に重要な役割をもち、体液中のイオンバランスの崩れを調べて、体内の障害を診断します。
	Ca	骨中に多く含まれ、骨疾患、内分泌疾患などで変動します。
脂質	総コレステロール	脂質異常症、動脈硬化、肥満などで高くなり、肝実質障害、栄養障害などで低くなります。
	HDLコレステロール	善玉コレステロールとも呼ばれ、動脈壁のコレステロールを取り除く作用があり、動脈硬化、虚血性心疾患などで低くなります。
	LDLコレステロール	悪玉コレステロールとも呼ばれ、高値の場合は動脈硬化を促進します。
	中性脂肪	脂質異常症、動脈硬化、肥満で高値を示し、食後でも高くなります。
糖代謝	血糖	高値のとき糖尿病が疑われ、食後でも高くなります。
	HbA1c	過去1~2か月の血糖の状態を反映し、糖尿病のコントロール指標となります。
炎症	白血球数	血液疾患、感染症、炎症性疾患で増減します。
	CRP	炎症や組織障害などで高くなります。
血液	赤血球数 血色素量 ヘマトクリット	貧血の有無や種類がわかります。
	血小板数	出血に関与し、減少すると出血傾向をきたします。
貧血	P.T	血液の凝固能力が低くなると延長します。肝障害の指標にもなります。
	鉄、フェリチン	貧血に関係し、特に鉄欠乏性貧血で低くなります。